

公 表 日

令和 3年 7月14日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和3年度海外における河川環境整備体制等に係る調査検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 藤巻 浩之 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契約年月日	令和 3年 7月14日
契約業者名	令和3年度海外における河川環境整備体制等に係る調査検討業務 J I C E・J
契約業者の住所	東京都港区虎ノ門3-12-1
契約金額	39,996,000円(税込み)
予定価格	39,996,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番7号
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 3年 7月15日
履行期間(至)	令和 4年 2月28日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和3年度海外における河川環境整備体制等に係る調査検討業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住所：東京都港区虎ノ門3-12-1 ニッセイ虎ノ門ビル
会社名：令和3年度海外における河川環境整備体制等に係る調査検討業務
JICE・JWF・RFC設計共同体
電話：03-4519-5001
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、治水と環境が調和した川づくりを我が国の現場で実践するにあたり、「海外において実際にどのように川づくりを行っているか」について、ヒアリング等により調査し我が国の参考とすることを目的とする。

あわせて、これまでに調査した欧州での先進事例も、その一部について、河道・流域特性や生態環境と結びつけて多角的に分析する。

2) 業務の内容

- | | |
|---|----|
| 1. 計画準備 | 1式 |
| 2. カーボンニュートラルに貢献する河川環境に関する
グリーンインフラの優良事例の収集 | 1式 |
| 3. 河川のインフラアセットマネジメントの展開に関する事例調査 | 1式 |
| 4. 河川・水資源開発等に係る関係企業へのヒアリングを通じた
我が国の技術・システム等の海外展開可能性に係る検討 | 1式 |
| 5. 報告書作成 | 1式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、及び特定テーマの「欧州及び途上国の事例調査にあたり対象国を選定するうえでの留意点」に対する技術提案の「着眼点、問題点、解決方法」「提案内容を裏付ける類似実績」について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 河川環境課長